

子どもの将来の学力を伸ばす 絵本の読み聞かせ

～ 園だより7月号 園での読み聞かせ絵本のご紹介 ～

多くの本を読んで育つと、語彙やものごとの知識が豊富になるだけでなく、読解力・思考力・判断力・集中力・表現力・共感力が培われます。毎日のクラス毎の活動では、保育士が絵本や紙芝居の読み聞かせを実践中です。また、子どもたち自身も小さいうちから絵本を眺めたり、自分で読んでいたりしています。子どもたちは目をキラキラと輝かせ、絵本に集中しています。当園での年間読書量は約1000冊です。

乳幼児期から本に触れることにより、勉強の習慣付け、基礎学力の定着に繋がります。下記の通り、今月のおすすめ絵本をご紹介します。絵本選びの参考となれば幸いです。



★ 今月の読み聞かせ絵本のご紹介 ★

<赤ちゃん組・たんぽぽ組 (0・1歳児)>		<すみれ組 (2歳児)>	
			
タイトル	いろいろぼあ	タイトル	しろくまのパンツ
作者	新井洋行	作者	亀山達矢 中川敦子
出版社	えほんの社	出版社	フロンズ新社
<さくら組 (3歳児)>		<もも組 (4歳児)>	
			
タイトル	ぐりとぐらのかいすいよく	タイトル	かぜのこふう
作者	なかがわりえこ やまわきゆりこ	作者	安江リエ
出版社	福音館書店	出版社	チャイルド本社
<ふじ組 (5歳児)>			
			
タイトル	ぼぼぼあちゃんの アイス・パーティ		
作者	さとうわきこ		
出版社	福音館書店		